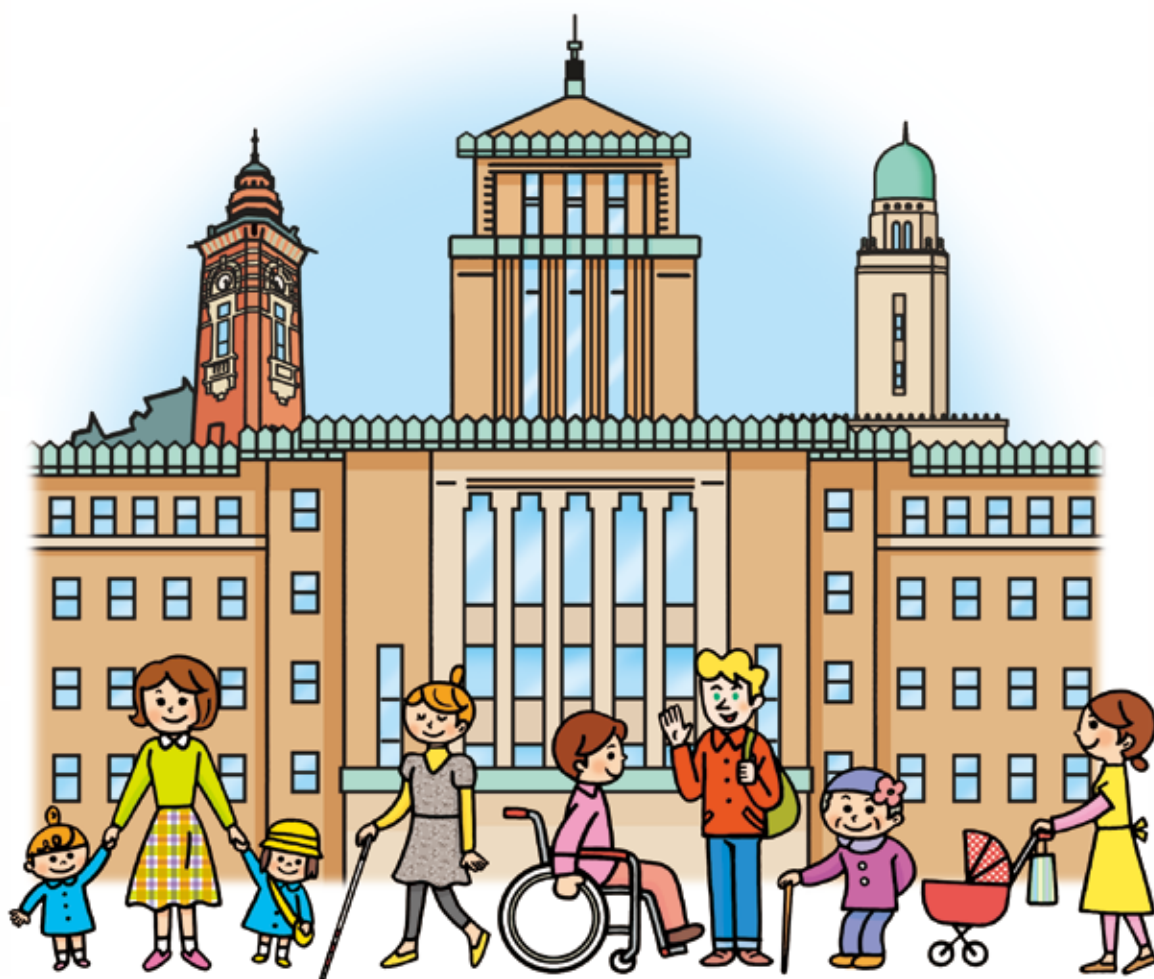




まち わたし
**街も、私たちも
バリアフリーになろうよ**



はじめに

わたし まち ひと す
私たちの街には、さまざまな人が住んでいます。

としよ しょうがい ひと
お年寄りや障害のある人などにとっては、

ちょっとした段差などが、ふだんの暮らしをしていくうえでの

さまた
妨げ（「バリア」）になることがあります。

このパンフレットは、こうしたバリアをなくそうという取り組みや

かんが かつ かんが かんが まち み ちか
考え方（「バリアフリー」）、バリアフリーの街にするための身近な

まち く ふう わたし こころ しょうかい
「街の工夫」や、私たちができる「心づかい」を紹介しています。

だれもが あんぜん あんしん じ ゆう で
だれもが安全に安心して、自由に出かけられる

バリアフリーの街にするために、私たちができることは何でしょうか。

がっこう かにい ともだち とう かあ いっしょ
学校やご家庭で、お友達やお父さん、お母さんと一緒に

かんが
考えてみてください。

わたし まち ひと
私たちの街には、さまざまな人が住んでいます（P2）

まち なか く ふう
街の中には、こんな工夫があります（P4）

わたし
私たちにできることがあります（P7）

ひと いっしょ まち かんが
さまざまな人と一緒に、街のことを考えよう（P11）

か ながわけん ひと
神奈川県でがんばっている人たち（P13）



わたし 私たちの街には、 さまざまな人が住んでいます

くるま 車いすを使っている人



て
手でタイヤを回して動くんた。
だん さ かいだん こま
段差や階段があると困るよね。

ある むすか ひと ある ちから よわ
歩くことが難しい人や、歩く力が弱くなっ
ころ
て転びやすくなったお年寄りが、くるま
つか で おお でんどう
使って出かけることも多くなりました。電動
くるま
の車いすもあります。しかし、だん さ かいだん
があると大変です。



し かく しょうがい 視覚に障害のある人



また み ひと み
全く見えない人やぼんやりとしか見えな
ひと しろ つえ つか きいろ てんじ
い人は、白い杖を使って、黄色い点字ブロッ
ク*を頼りに歩いています。

てんじ うえ じてんしゃ
その点字ブロックの上に自転車など
があるとぶつかるので危険です。



ひとくち
一口



*「点字ブロック」の説明は、6ページにあります。

ちょうかく しょうがい ひと 聴覚に障害のある人

きこえない人や、聞こえにくい人は、話し声や放送の内容がわかりません。

がいけんからわかりにくいので、困っていても、まわりの人に気づいてもらえないことがあります。



かみ か はなし
紙に書けば、話をする事ができるね。
しゅわ つか ひと した え み
手話を使う人もいるよ。下の絵も見てね。

【聞こえません】



● 耳の横で手の平を下にして指先を上下に振る

【書いて】



● 左手の平に、右手で上から下に書くしぐさをする

【お願いします】



● 右手を顔の中央からおろす

【ありがとう】



● 左手の甲に、右手を直角に乗せ、上に上げる

としよ お ひと お年寄りやベビーカーを押している人



お年寄りの中には、長く歩くと疲れてしまう人もいます。街の中にベンチなどがあると、助かります。

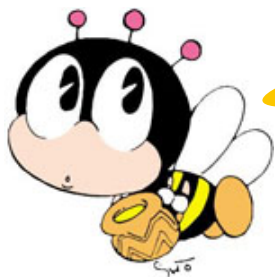
ベビーカーを押して出かけるときは、少し広い歩道やトイレがあると助かります。

まち なか 街の中には、 く ふう こんな工夫があります



エレベーターやスロープ

エレベーターやスロープを作れば、車いすを使っ
ている人も、ベビーカーを押している人も楽に上
げ くだろ
下に移動することができます。



れきし たてもの く ふう
歴史ある建物でも、こんな工夫があるよ。
よこはまし かいこう きねんかいかん ば
横浜市開港記念会館には、ガラス張りの
エレベーターがついているよ。



「みんなのトイレ」

「みんなのトイレ」は、車いすを使ってい
る人やベビーカーを押している人も利用し
やすい、広いトイレです。ベビーチェアや
オストメイト*の設備がついています。

ひとくち
一口

メモ

*オストメイトとは、病気のために手術をして、人工の肛門や膀胱にした人です。
トイレを使うときは、専用の流しが必要です。

しょうがいしゃようちゅうしゃ く かく
障害者用駐車区画



もよう ぶぶん くるま の お
しま模様の部分は車いすでの乗り降り
 ひつよう
のときに必要なスペースなんだ。

くるま つか ひと ぜんかい じどうしゃ の お
 車いすを使っている人は、ドアを全開にして自動車へ乗り降りし
 ます。そのため、**駐車区画の幅を広くとっています。**このような駐
 車区画は、**お店などの入口近く**にあります。

えき でんこうけいじばん もじほうそう
駅の電光掲示板・文字放送

ほうそう き ひと もじ あんない たよ
 放送が聞こえない人は、**文字の案内を頼**
りに歩いています。



ほうそう
そうか! 放送だけで
 もじ あんない
なく、文字でも案内し
ているんだ。



おうだんほどう てんじ 横断歩道の点字ブロック



おうだんほどう わたばしよ きいろ てんじ
横断歩道を渡る場所にも、黄色い点字ブロック
があり、それを踏んだり、白い杖でさわると、横
断歩道の場所がわかります。

きいろ ふ
ふ～ん。黄色いブロックを踏んだり、
しろ つえ
白い杖でさわるとわかるんだ。



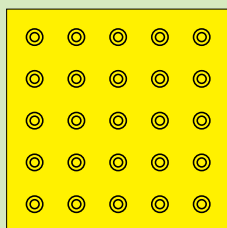
ホームの点字ブロック

ホームの縁の近くにも、黄色の点字
ブロックがあり、線路が近くにあるこ
とを知らせています。

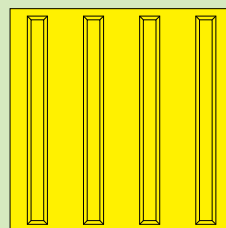


てんじ し かくしょうがいしゃゆうどうよう せつめい 点字ブロック（視覚障害者誘導用ブロック）の説明

ブロックには、2種類あります。点も線も飛び出ている、踏んだり、
白い杖でさわると、その形がわかり、気がつきます。

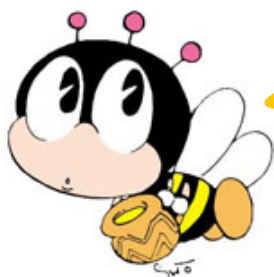


てんじょう
◀点状ブロック
たちどまって安全
を確認します。



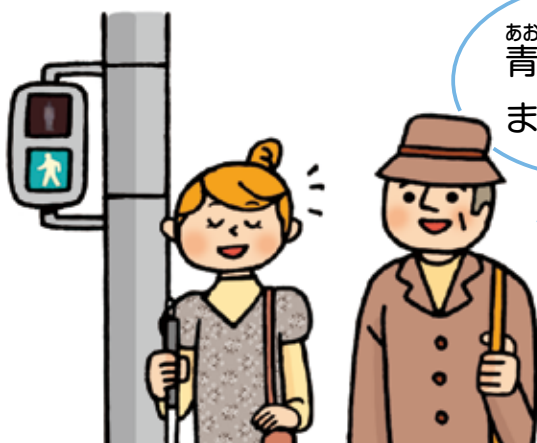
せんじょう
◀線状ブロック
線の方向がある
方向です。

わたし 私たちに できることがあります



まち なか み
街の中で見かけたよ。
わたし
私たちにもできるよね。

こうさてん しかく しょうがい ひと で あ 交差点で視覚に障害のある人に出会ったら



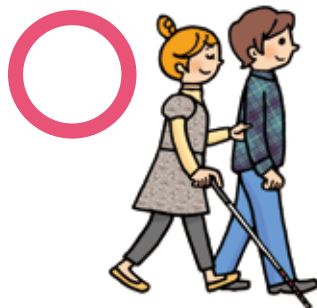
あお
青にかわり
ましたよ

しかく しょうがい ひと しんごう
視覚に障害のある人は、信号が
あか あお
赤か青かわかりません。わた
渡るのに
こま
困っているようでしたら、あお
「青です」
こえ
と声をかけましょう。

てび 手引き (ガイドヘルプ) の基本 きほん



●まず「お手伝いする
ことはありますか」と
こえ
声をかけます。



●誘導するときには手引きの
ひと さき ある うで
人が先を歩き、腕をつかん
でもらうのが基本です。



●手を引っぱったり、後
ろからお
押ししたりしてはい
けません。

お店で視覚に障害のある人に出会ったら



まず声をかけて、どのようなお手伝いが
必要か聞きましょう。

視覚に障害のある人は、品物をさわって
確認します。お店で頼まれたら、品物の説
明をして、渡しましょう。

車いすを使っている人に出会ったら

急なスロープや段差があるところでは、声を
かけて、車いすを押しお手伝いしましょう。



車いす介助の基本



●まず「お手伝いすることは
ありますか」と声をかけます。



●後ろの足元のバーを踏み
込んで、前輪を上げます。



●前輪を上段に静か
に乗せます。



●後輪をゆっくり押し
上げます。

お店で車いすを使っている人に出会ったら

高い棚にある商品がとれないときにお手伝いしたり、通路が通れるようによけるなどの心づかいをしましょう。



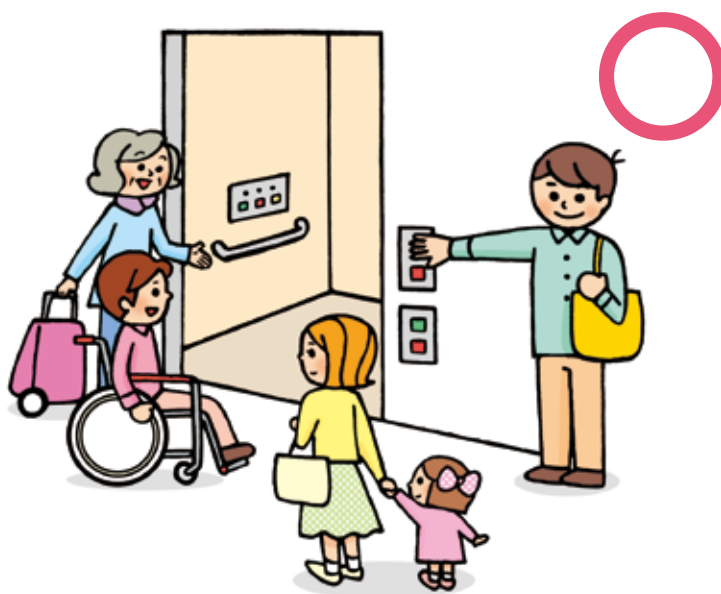
障害者用駐車区画はあけておきましょう

車いすを使っている人が、この駐車区画で乗り降りできるように、必要な人のためにあけておきましょう。



エレベーターはゆずり合って使いましょう

エレベーターが必要な人がいます。階段やエスカレーターが使える人は、ゆずり合いましょう。



「みんなのトイレ」はゆずり合いましょう

くま つか ひと ひろ
車いすを使っている人などは、広いト
イレが必要です。「みんなのトイレ」が必
よう ひと つか
要な人が、いつでも使えるように、ゆず
り合いましょう。



聴覚に障害のある人との会話はメモを使いましょう



しょうひん せつめい しつもん かみ か はなし
商品の説明や質問を紙に書いて話をすれ
ば、伝えあうことができます。

「心のバリアフリー」になるための提案です

てい あん 提案 ①

こま ひと で
困っている人に出
あ こと へい
会ったら、声をかけ
よう。



てい あん 提案 ②

てつだ こと き
お手伝いすることがあるか聞
いてみよう。断られても気に
しない。別のときにまた声を
かけよう。



てい あん 提案 ③

じぶん てつだ
自分でお手伝いでき
ないときは、えきいん
さんや店員さんに伝え
よう。



さまざまな人と一緒に、 街のことを考えよう

1 さまざまな人のことを知る

しょうがい ひと はなし き
障害のある人から、話を聞きます。

- くるま こま
・ 車いすではどのようなときに困るのか
- しろ つえ つか ある
・ 白い杖をどのように使って歩いているのか
- ひつだん ほうほう
・ 筆談の方法 など



2 街の点検の計画をつくる

① 街で「困っていること」をとりあげます。

- ひと こま き
・ さまざまな人から、困っていることを聞きます。

② 「どの街」を歩くのか決めます。

- みち こうえん えき みせ えら
・ 道や公園、駅やお店などから選びます。

③ 「誰と」歩いて「どんな体験」をするのか決めます。

- くるま たいけん しかく しょうがい ひと てび
・ 「車いす体験」や「視覚に障害のある人の手引き (ガイドヘルプ)」など、
しょうがい ひと いっしょ たいけん けいかく かんが
障害のある人と一緒に体験する計画を考えます。

3

まちで てんけん たいけん
街に出て点検や体験をする

- ・ 10人ぐらいのグループで行動します。
- ・ 道路の段差や点字の案内図を確認します。
- ・ 障害のある人から街で「困っていること」や「便利なもの」を説明してもらいます。



4

はなあ ていあん
話し合っ、提案をまとめる

- ・ こんな街にしたいという提案を出し合います。
- ・ 模造紙にみんなの考えを整理します。



5

はっぴょう
発表する

- ・ 各グループの提案を発表します。
- ・ 発表を聞いて、気づいたことや良いアイデアを出し合いましょう。

神奈川県でがんばっている人たち

● 秦野市立本町小学校のバリアフリー活動

子ども達は、障害のある人と一緒に、街の中のバリアを点検して、発見したことや感じたことを発表しました。



視覚に障害のある人と
まち点検



まち点検後の発表と意見交換

● 大和市立光丘中学校

校舎の建替えのときに、生徒・保護者・先生・市民のみなさんに意見を聞いて、「みんなのトイレ」、授乳スペースなど、だれにでも使いやすい学校づくりをしました。



「みんなのトイレ」



授乳スペース

● バリアフリー・まち点検実行委員会 (愛川町)

地元の人たちが実行委員会をつくって、学校や福祉関係の人たちと
いっしょにバリアフリー・まち点検活動をしました。そして、道路などをよ
りよくすることを提案しました。



施設の
点検活動



まち点検活動

● オープントイレプロジェクト

お店などにあるトイレを、
みんなで使えるようにしよう
という取り組みです。トイレを
貸してくれるお店には「貸出
サイン」があります。



トイレ貸出サイン



トイレ貸出サインを
貼り出したお店

● 人にやさしい駅づくり (相模鉄道株式会社)

お年寄りや体の不自由な方
が安心して駅を乗れるよう、
駅員さんがお手伝いして、心
のバリアフリーに取り組んで
います。



車いすを使用する方が
電車に乗るのをお手伝い



筆談器で聴覚に障害が
ある方をご案内

つぎ
次のマークが、街や建物の
まち たてもの
どこにあるか探してみよう！

| | | | | |
|--|--|--|---|---|
| <p>こくさい 国際シンボルマーク</p>  <p>さまざまな障害者が利用できる建物や施設を示すマークです</p> | <p>しんたいしょうがいしゃ 身体障害者マーク</p>  <p>身体障害者が運転する車に表示するマークです</p> | <p>みみ 耳マーク</p>  <p>聞こえが不自由なことを示すマークです</p> | <p>ハート・プラスマーク</p>  <p>「身体内部に障害がある人」を示すマークです</p> | <p>AED マーク</p>  <p>心臓がけいれんした時電気ショックを与え、正常に戻す医療機器を設置しているマークです</p> |
| <p>マタニティマーク</p>  <p>妊産婦がカバンなどにつけて周囲が配慮をしやすいマークです</p> | <p>オストメイトマーク</p>  <p>オストメイト用の設備を備えていることを示すマークです</p> | <p>しかくしょうがい 視覚障害のマーク</p>  <p>視覚障害を示す国際シンボルマークです</p> | <p>ほじょけん 補助犬マーク</p>  <p>補助犬の同伴を積極的に受け入れるマークです</p> | <p>ちょうかくしょうがいしゃ 聴覚障害者マーク</p>  <p>聴覚障害者が運転する車に表示するマークです</p> |

マークをつけた場所を探して、書いてみよう。

| | | |
|---------|---------|-----------|
| ねん 年 | くみ 組 | なまえ 名前 |
|---------|---------|-----------|